

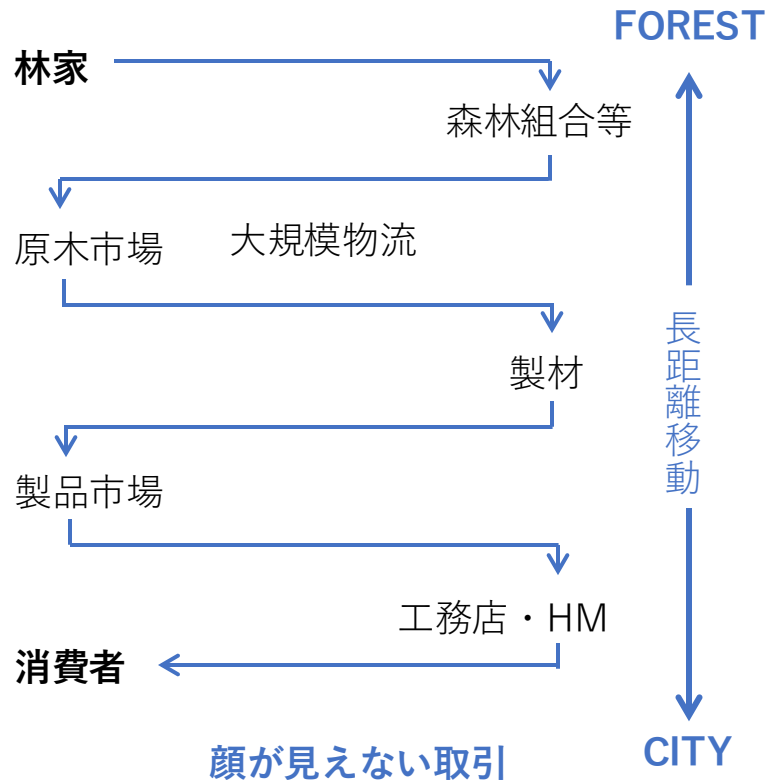
「木になる紙」

— 山林所有者向け説明資料 —
状況調査を含む

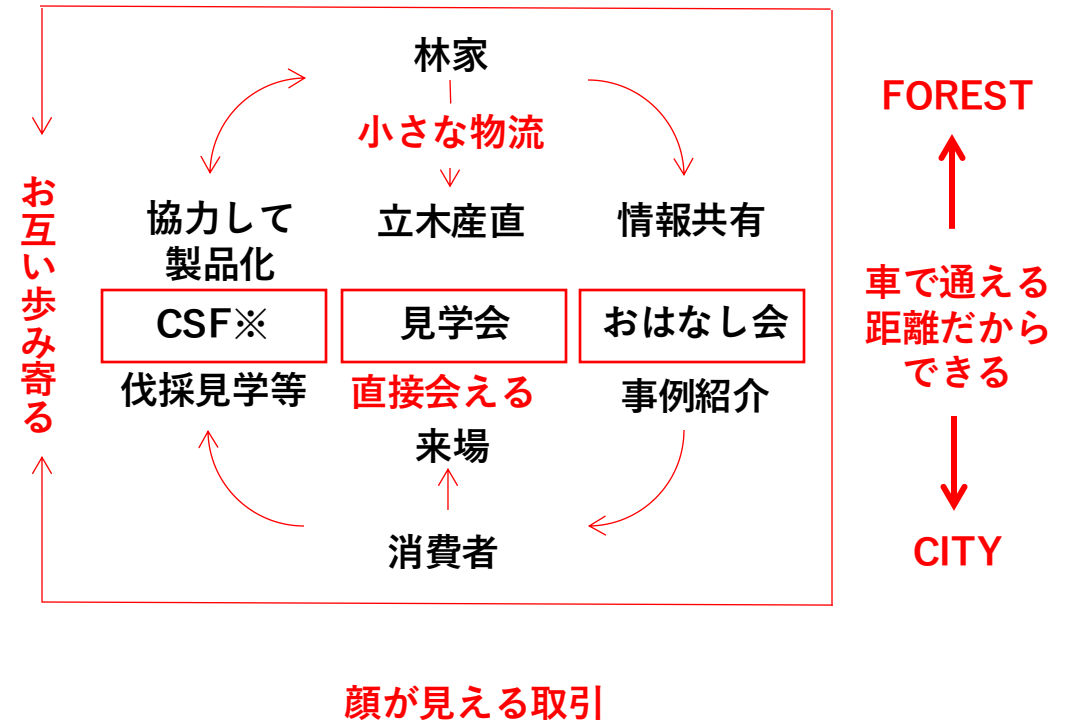
木になる紙 事務局
CSF (**Community Supported Forestry**)
コミュニティで支える森林業

産直立木～木になる紙 CSFの取組み

従来型



協力型



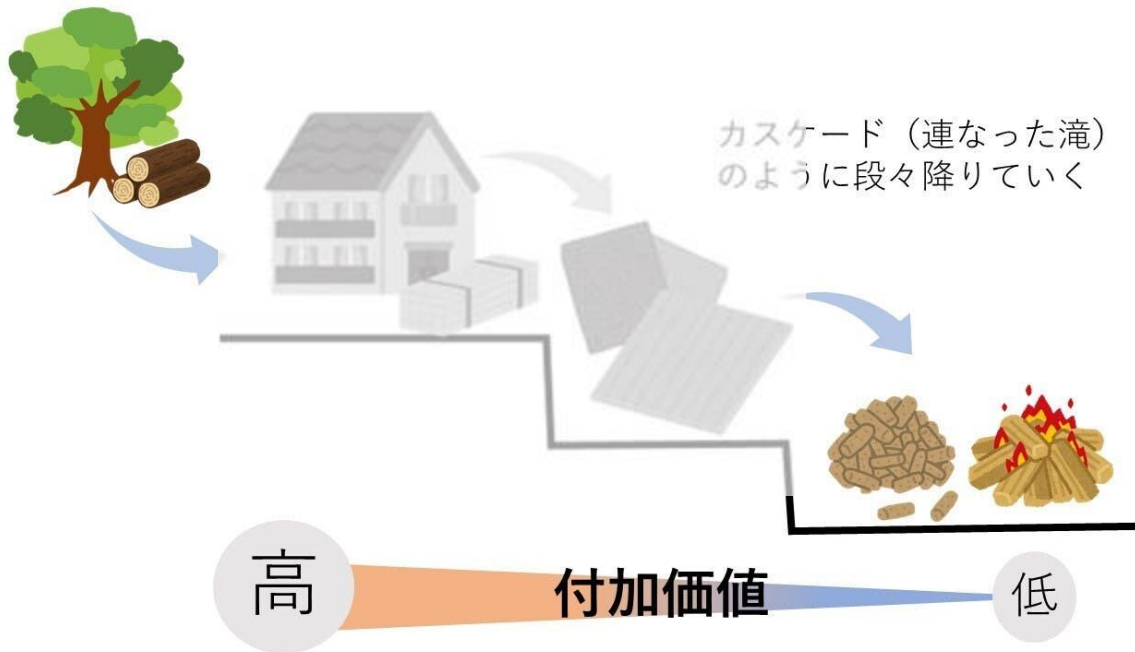
CSF
Community Supported Forestry
 コミュニティで支える森林業

(参考資料)

神戸から顔の見える経済をつくる会「ローカルエコノミーのつくり方・ミッドサイズの年から変わる仕事と経済のしくみ」学芸出版社

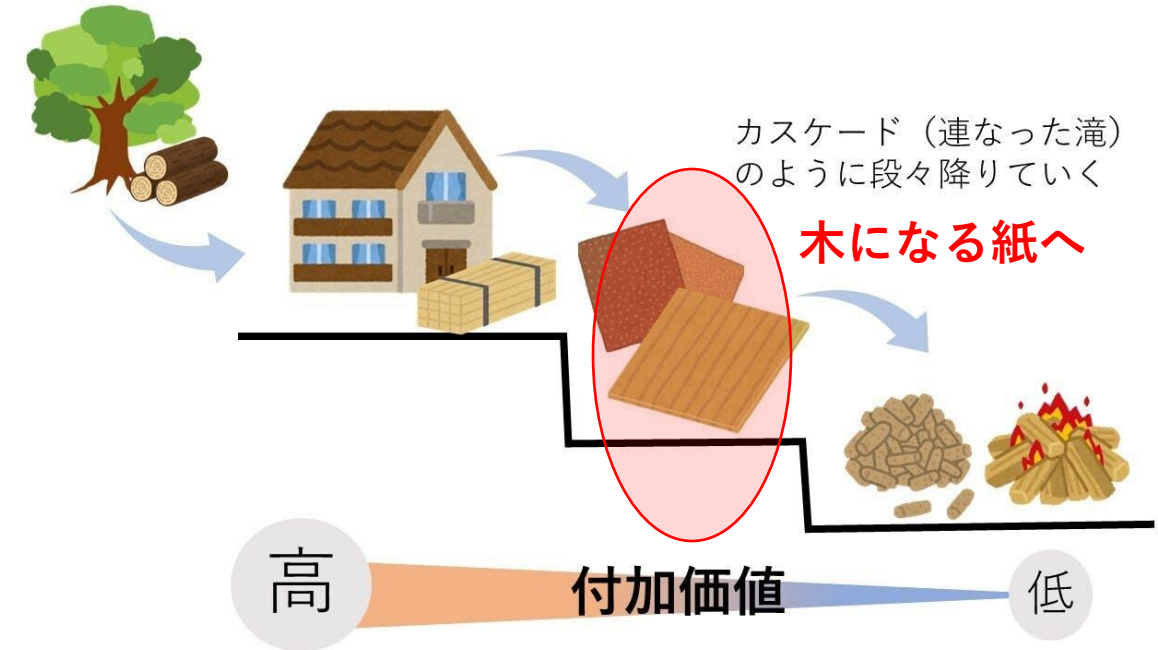
CD材をバイオ材でなく「木になる紙」へ

カスケード利用
付加価値**低い**場合



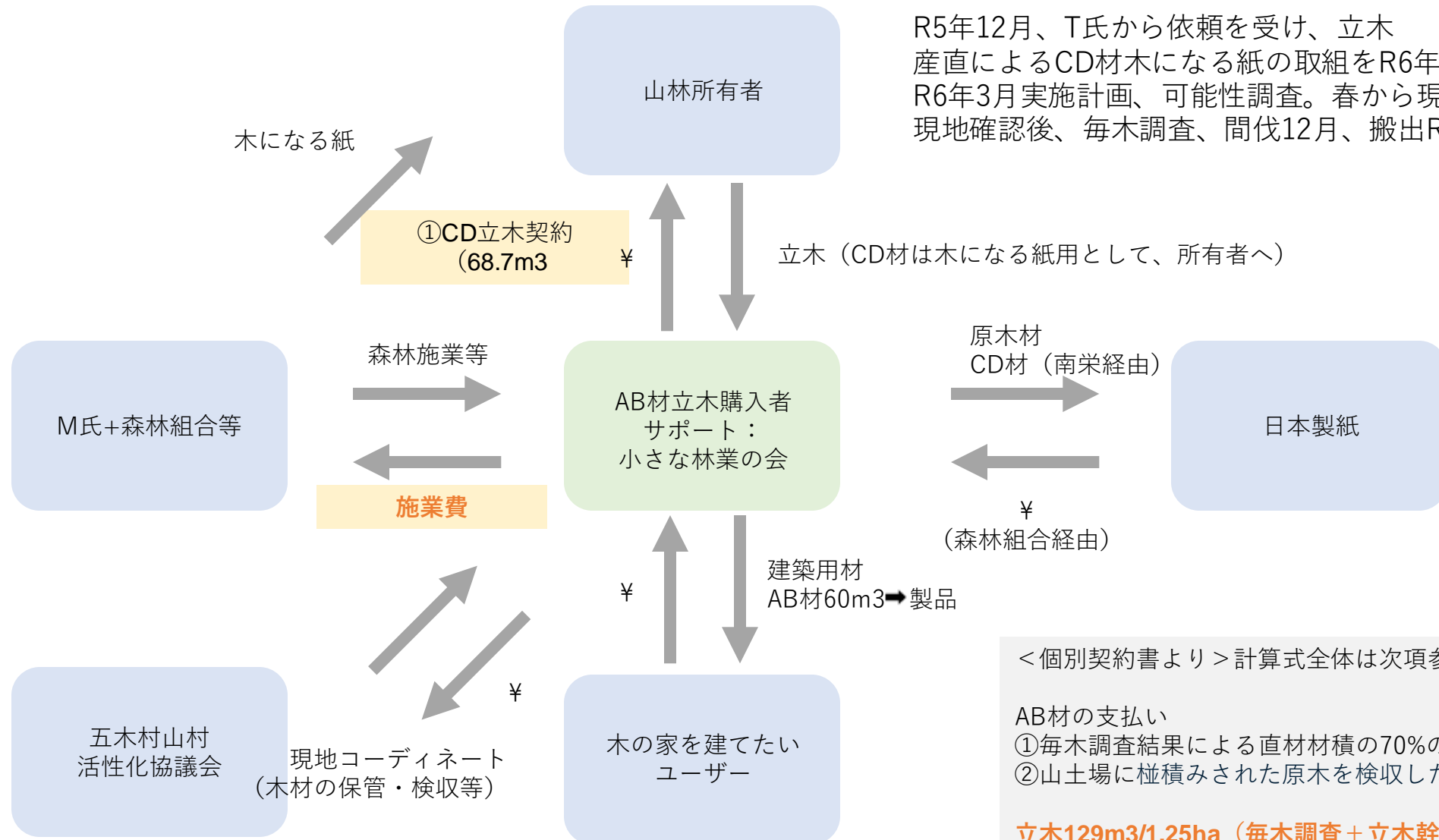
木材を利用せず発電、燃料にするバイオ材
→もったいない

カスケード利用
付加価値**高い**場合（今回の提案）



AB材：建築用材利用、CD材：「木になる紙」
→付加価値を高める取り組み

産直立木の取り組み～Tさんの事例R5年～



R5年12月、T氏から依頼を受け、立木産直によるCD材木になる紙の取組をR6年1月から始める。R6年3月実施計画、可能性調査。春から現地視察、編成。現地確認後、毎木調査、間伐12月、搬出R7年5月予定。

<個別契約書より> 計算式全体は次項参照

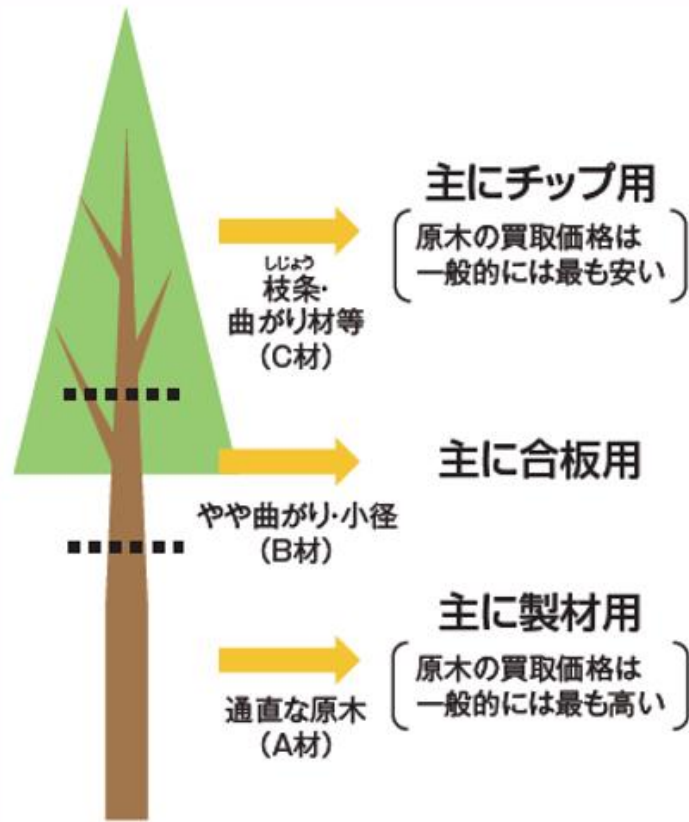
AB材の支払い

- ① 毎木調査結果による直材材積の70%の数量
- ② 山土場に極積みされた原木を検収した数量

立木129m³/1.25ha (毎木調査+立木幹材積表より算出)

CD材をバイオ材でなく「木になる紙」へ

資料 I - 3 原木とその用途(イメージ)



注：「A材」、「B材」、「C材」については、明確な定義や基準がないため、一例として示したものである。

(現在の想定)

認識：要確認

AB材：製材用

- ・直材、主材利用部分

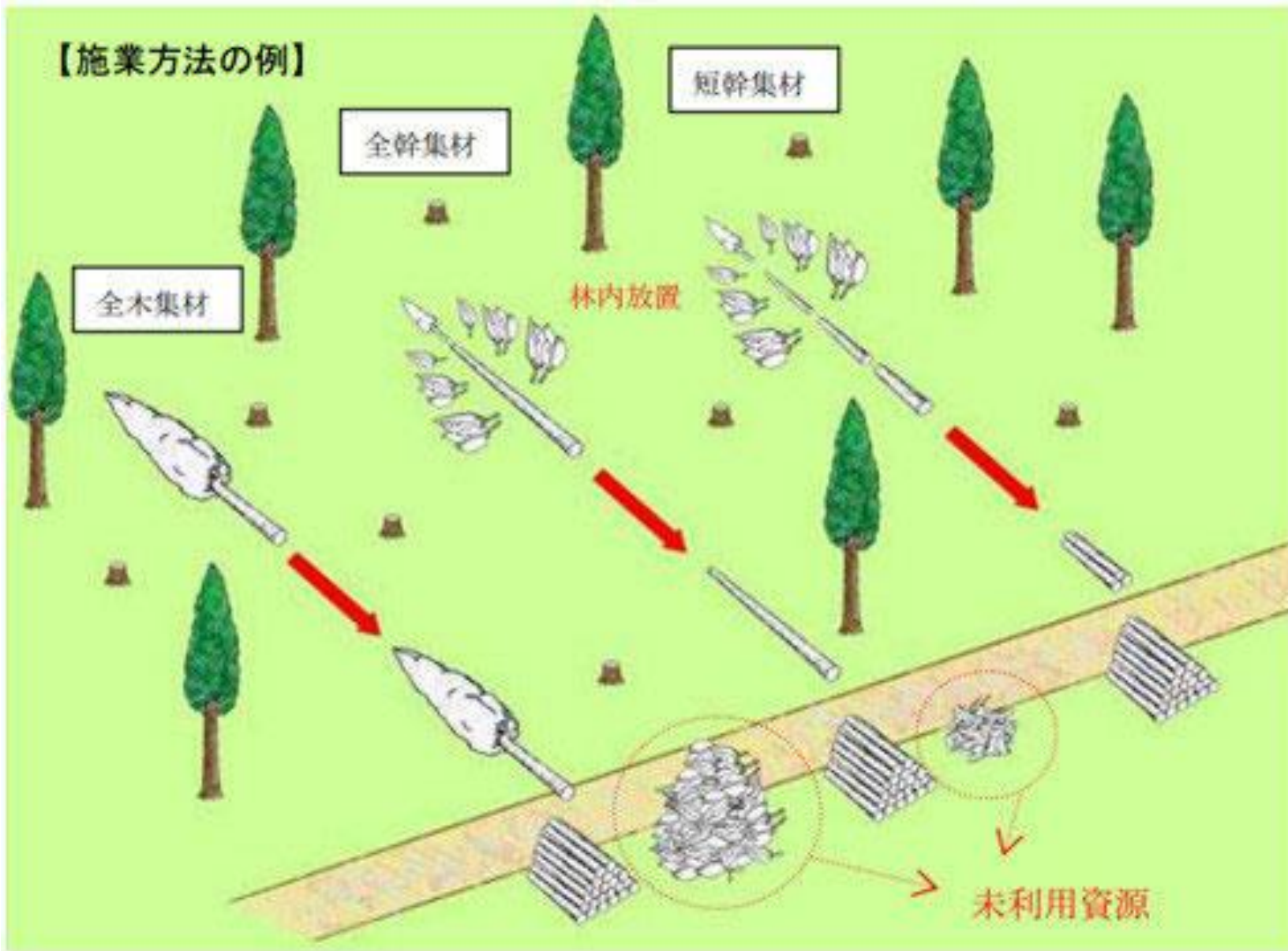
C材：木になる紙用

- ・曲がり材
- ・小径材

D材：林地残材

- ・根元部
- ・枝葉





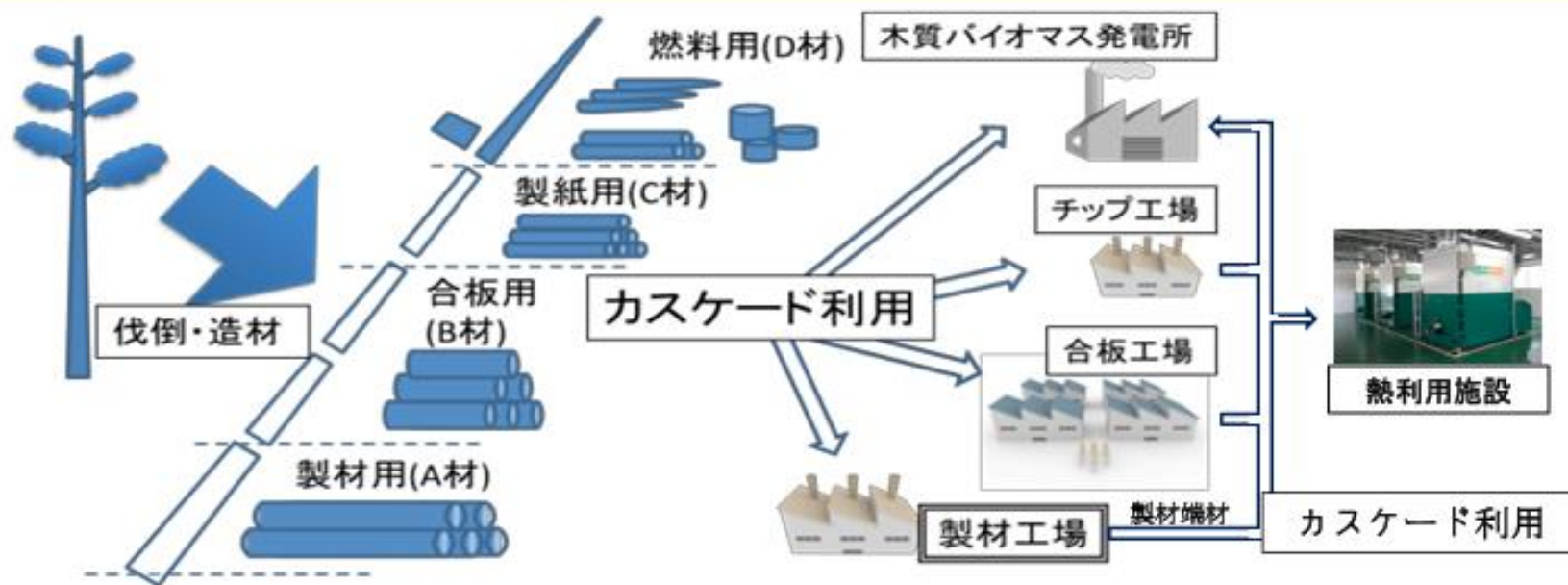
(今回) 全木集材
D材は山に残置予定

次回以降の施業時に考慮

(自伐型林業) 短幹集材
林内に枝葉残置
土にかえず山への配慮

木材のカスケード利用のイメージ







○ カスケード利用とは、木材を建材等の資材として利用した後、ボードや紙等の利用を経て、最終段階では燃料として利用することをいう。



木になる紙～産直木材の施業の大まかな流れ

| | 施業の流れ | 今回の施業システム | | |
|----|-----------|--------------------|-----------|--------|
| | | 誰がやるか | 使用機械 | |
| | 全体構想 | 小さな林業/木になる紙 事務局 | | |
| | 作業道作設 | (森林組合) | ユンボ等 | |
| 1 | 現状把握 (机上) | 活性化協議会 + 森林組合 | | |
| 2 | 概算見積 | | | |
| 3 | 現状把握 (現地) | 活性化協議会 + 森林組合 | | 保安林の確認 |
| 4 | 境界確定 | 森林組合 | GPS測量機 | |
| 5 | 立木調査 | 活性化協議会 | 輪尺 + レーザー | |
| 6 | 現状把握 (現地) | 活性化協議会 + 森林組合 | | |
| 7 | 精算見積・契約 | | | |
| 8 | 除伐 | 林業家 | 刈り払い機 | |
| 9 | 伐倒 | 林業家 | チェーンソー | |
| 10 | 造材 | 森林組合 | プロセッサ | |
| 11 | 集材 | 森林組合 | タワーヤーダー | |
| 12 | 運搬 | 森林組合 | フォワーダ | |
| 13 | 集積・仕分 | 森林組合 | グラップルローダー | |
| 14 | 検収 | 活性化協議会 | | |
| 15 | 歩留調査 | 小さな林業 | | |
| 16 | 搬出 | 南栄 | | |
| 17 | 製造 | 日本製紙 | | |

一連の流れ

| ①現状確認 7月 | ②既存の確認7月 | ③境界確定 9月 | ④毎木調査10月 | ⑤除伐10月 |
|--|--|---|---|---|
|  |  |  |  |  |
| <p>書類・現地の確認</p> | <p>既存の作業道、山土場の活用 (整備の有無の確認)</p> | <p>伐採範囲の確認 GPSの計測による面積の確定</p> | <p>資源賦存量の確認 使う木、育てる木の選木</p> | <p>目的とする樹種以外の作業の妨げになる植栽の除去</p> |
| ⑥伐倒 12月 | ⑦造材・集材・運搬 | ⑧集積・仕分・検収 | ⑨搬出 5月 | ⑩木になる紙へ月 |
|  | | | | |
| <p>現地の状況により伐採の調整 葉つき乾燥の期間の確保</p> | <p>進行中 (4月~5月搬出予定) CD材 68m3 × 70%程度? 木になる紙原木 実績m3の調査・確認予定</p> | | | |